

平成30年度マイクロ波無線送電技術ビジネス化研究会【第2回】の開催

平成30年11月
経済産業省宇宙産業室

1. 研究会のねらい

宇宙太陽光発電システムの中核技術として研究開発を進めているマイクロ波無線送電技術は、将来のビジネス化が期待できる有望な技術です。また、我が国の技術水準は世界をリードしており、早期に事業化を実現することができれば、世界的にも我が国に優位性のある新たなビジネス分野として期待できます。

一方で、実現可能性のあるビジネスモデルが構築できておらず、事業化の動きは進んでいません。また、実際に無線送電技術を利用する際には周波数の確保が必要であり、実用化に向けた検討が関係者で進められているところですが、そうした動きを推進する上でも具体的なビジネスモデルを確立していくことが必要です。

このため、マイクロ波無線送電技術の早期の事業化を目的として、将来のビジネス化を目指す企業と専門家、行政機関等が集まり、具体的なビジネスモデル等を検討して、メリットを明確化し、課題の解決策について検討する場として、マイクロ波無線送電技術ビジネス化研究会を開催しています。

※本研究会は、宇宙太陽光発電システムの研究開発事業（経済産業省委託事業）の一環として開催するものです。

2. 参加メンバー

企業、団体、学識経験者、行政機関及び関連機関において、マイクロ波無線送電技術の事業化に関心のある方々

3. 活動内容

- (1) マイクロ波無線送電技術の活用方法のアイデア出し
- (2) アイデアの中から事業性のあるものについて具体的なビジネスモデルの検討
- (3) その他マイクロ波無線送電技術の事業化に向けて必要な活動

4. 協賛及び事務局

協賛：ワイヤレス電力伝送実用化コンソーシアム [WiPoT]

事務局：一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構 [J-spacesystems]

5. 第2回研究会

日時：平成30年12月12日(水) 第1部 15:00~16:40、第2部 17:10~18:30

場所：機械振興会館 地下3階 研修-1会議室（東京都港区芝公園三丁目5番8号）

内容：

第1部：講演

「森林ビジネスと情報・エネルギー技術」	東京大学	仁多見 俊夫 氏
「変化にチャレンジ」	株式会社 B-STORM	志村 則彰 氏

【講師略歴】

仁多見 俊夫 氏：東京大学大学院農学系研究科林学専門課程を経て、スウェーデン農科大学客員研究員、カナダ林業工学研究所客員研究員を歴任。2005年に森林利用学会賞受賞。現在、森林資源の収穫と利用について考究する森林利用学研究室准教授。

志村 則彰 氏：カシオ計算機(株)専務取締役、(株)オプトエレクトロニクス取締役会長を歴任。2017年にマイクロ波給電システムを応用した各種装置、他の事業を通して物流システムや少子高齢化社会における人手不足に対応する働き方改革への貢献を目指して新会社B-STORMを創業。現在、(株)B-STORM代表取締役会長。

第2部：情報交換会【会費制、参加希望者のみ】

参加者の皆さまの自由な情報交換の場です。

軽食と飲み物をご用意します。[会費一人 500円]

※第1部のみ参加も可能です。

※参加をご希望される方は、次ページの必要事項を記入の上、**12月7日(金)までに**メールにより、末尾の連絡先までお申込みください。

